

——— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。 ———

使用上の注意改訂のお知らせ

日本薬局方

アスコルビン酸

ビタミンC「フソー」

日本薬局方

アスコルビン酸散

ビタミンC散「フソー」- 50 mg

ビタミンC散「フソー」- 100 mg

このたびビタミンC製剤**ビタミンC「フソー」**（日本薬局方 アスコルビン酸）並びに**ビタミンC散「フソー」-50mg, -100mg**（日本薬局方 アスコルビン酸散）につきまして、**使用上の注意**を下記のとおり改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。

平成14年6月



記

ビタミンC「フソー」（日本薬局方 アスコルビン酸）

ビタミンC散「フソー」-50mg, -100mg（日本薬局方 アスコルビン酸散）

1. 使用上の注意改訂内容（自主改訂）

[臨床検査結果に及ぼす影響]の項を
「各種の尿検査（潜血，ビリルビン，亜硝酸塩）・便潜血反応検査で、偽陰性を呈することがある。」
に改める。
<参考> 伊藤機一 他：臨床と薬物治療，11(2)：202(1992)

改訂理由（自主改訂）：

尿潜血、ビリルビン、亜硝酸塩試験及び便潜血反応検査には酸化還元反応を利用したものがあり、これらの反応は強い還元作用を有するアスコルビン酸の影響を受けることが知られています。

尿潜血、便潜血検査に対する影響については既に記載されておりますが、このたび、同様の影響が知られている検査項目を追記し、記載を整備しました。

尿・便潜血：ヘモグロビンが特異的に試験紙に含まれている過酸化物質から活性酸素を遊離し、活性酸素がクロモゲンを酸化し呈色させる。アスコルビン酸は還元型クロモゲンよりも酸化され易いため、クロモゲン酸化（発色）を阻害することになる。

尿中ビリルビン：ビリルビンとジアゾニウム塩を結合してアゾ色素（発色）を形成させる。アスコルビン酸の存在により反応が阻害される。

尿中亚硝酸塩：尿中に細菌が多数存在すると細菌の酵素によって尿中の食物由来の硝酸塩が還元されて亜硝酸塩となり、ジアゾカップリング反応により亜硝酸塩を呈色させる。アスコルビン酸により反応が妨害される。

2. 【使用上の注意】の全文を次頁に収載しました。

ビタミンC「フソー」、ビタミンC散「フソー」－50mg、－100mg の「使用上の注意」(改訂後)

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
消化器	悪心・嘔吐，下痢等

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

- (1) 各種の尿糖検査で，尿糖の検出を妨害することがある。
- (2) 各種の尿検査（潜血，ビリルビン，亜硝酸塩）・便潜血反応検査で，偽陰性を呈することがある。

2002年5月改訂（アンダーラインは変更箇所）